

6班

世界文化遺産登録 富岡製糸場のルーツを訪ねて ==ゆる〜い深谷さんぽ==

1年って早いものですね。いきがい大学熊谷学園の社会見学で「富岡製糸場」を見学したのはつい昨日の出来事のようにです。世界文化遺産に登録されて、今では見学も長蛇の列だそうで本当に良い時期に企画して大成功だったと思います。

ちなみに写真の絵は班長の滝澤が描いたものです。(味がありますね。自画自賛。)



6班では、7月25日(金)富岡製糸場建設に関連した「三偉人」が深谷市出身であり、建設を計画した「渋沢栄一」・建設責任者「荏塚直次郎」・初代場長「尾高惇忠」の記念館や旧家を見学しました。「尾高惇忠」の娘、勇(ゆう)が工女第1号であることも知られています。

「道の駅おかべ」に集合。最初に車で10分ほどの伊勢崎市にある、国指定史跡 田島弥平旧宅を見学。



絹産業遺産群の近代養蚕農家建物として注目されています。次に深谷市内の「近代日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一記念館でその功績を学び、旧渋沢邸「中の家」(なかんち)。埼玉県指定有形文化財でもある誠之堂・清風亭を見学しました。今回の世界遺産登録は建物が注目されていますが、深谷市に残っている文化遺産やその時代を生きた人々の偉大さを感じる有意義な一日でした。